



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 079-235-6004

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	38,294	12.9	3,572	42.9	3,478	64.6	2,320	43.3
29年3月期第1四半期	33,920	16.9	2,500	24.2	2,113	38.5	1,619	28.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,298百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 154百万円 ( 95.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	14.41	
29年3月期第1四半期	10.05	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	188,686	124,231	65.4
29年3月期	183,444	123,143	66.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 123,410百万円 29年3月期 122,329百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		7.50	12.50
30年3月期					
30年3月期(予想)		6.50		30.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円00銭となり、1株当たり年間配当金は12円50銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	12.4	6,200	19.0	6,200	30.3	4,100	30.3	25.45
通期	150,000	8.2	11,800	1.0	11,800	0.5	7,800	0.2	242.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は48円42銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	167,124,036 株	29年3月期	167,124,036 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	6,032,519 株	29年3月期	6,028,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	161,094,464 株	29年3月期1Q	161,200,642 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想等の適切な利用に関する説明)

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

(株式併合後の業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第105回定時株主総会において、株式併合について可決を受け、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金  
第2四半期末 6円50銭  
期末 6円00銭

(2) 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益  
第2四半期(累計) 25円45銭  
通期 48円42銭

## 【添付資料】

## (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
参考資料	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（平成29年4月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景として、個人消費の持ち直しや企業収益の改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、景気の先行きにつきましては、米国新政権の政策動向に対する懸念や地政学的リスクの高まり、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念などによる、海外経済の不確実性により、依然として不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、主要な向け先である自動車業界、産業機械業界の需要が堅調であったことにより、特殊鋼鋼材の受注は前年同期を上回る水準で推移しました。

このような中、当社グループの当第1四半期の売上高は、販売数量が前年同期に比べて増加したことや鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比43億74百万円増の382億94百万円となりました。経常利益につきましては、販売数量の増加や固定費の減少などにより、前年同期比13億65百万円増の34億78百万円、ROS（売上高経常利益率）は9.1%（前年同期は6.2%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億1百万円増の23億200百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

（注）当第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。変更の詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3） 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）当第1四半期連結累計期間」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

#### 鋼材事業

当第1四半期の売上高は、販売数量の増加や鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比39億11百万円増の345億34百万円となりました。営業利益は、販売数量の増加や固定費の減少などにより、前年同期比8億80百万円増の28億84百万円となりました。

#### 粉末事業

当第1四半期の売上高は、自動車・産業機械分野向けの販売数量の増加などにより、前年同期比83百万円増の11億88百万円となりました。営業利益は、販売数量の増加などにより、前年同期比54百万円増の2億71百万円となりました。

#### 素形材事業

当第1四半期の売上高は、販売数量の増加や鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比7億9百万円増の44億59百万円となりました。営業利益は、メキシコ子会社における立上げ費用の増加などはあったものの、販売数量の増加などにより、前年同期比2億48百万円増の4億41百万円となりました。

#### その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比36百万円減の2億78百万円、営業損失は前年同期比6百万円増の8百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産残高は、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加などにより、前期末比52億42百万円増の1,886億86百万円となりました。

負債残高は、借入金は減少したものの、コマーシャル・ペーパーの増加などにより、前期末比41億54百万円増の644億55百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前期末比10億87百万円増の1,242億31百万円となりました。

この結果、当第1四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.16（前期末は0.10）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、わが国の景気が緩やかな回復を続けていくことが期待される一方で、海外経済の不確実性の高まりへの懸念、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、第10次中期経営計画「Sanyo Global Action 2019」に掲げたとおり、経営理念『信頼の経営』のもと、生産構造改革の実行などにより事業基盤を強化することで安定的な収益を確保できる盤石な企業体質を確立するとともに、技術先進性をさらに追求し、「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進することで、競合激化、原料・エネルギー価格の上昇等の厳しい経営環境においても、人・技術・利益の持続的成長を追求してまいります。

連結業績予想につきましては、上期（第2四半期累計期間）の販売数量が、前回予想時の想定に比べて増加するとみられることなどから、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。なお、通期の予想につきましては、下期の販売数量が上期に比べやや減少するとみていることや、原燃料価格の変化による減益要因が見込まれることなどから、前回公表値を据え置くことといたしました。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,834	13,890
受取手形及び売掛金	41,829	44,862
電子記録債権	4,205	4,784
商品及び製品	7,822	8,106
仕掛品	18,724	21,356
原材料及び貯蔵品	13,193	13,699
未収還付法人税等	103	100
その他	2,356	2,433
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	103,060	109,223
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	34,281	33,263
その他(純額)	26,015	26,393
有形固定資産合計	60,297	59,657
無形固定資産	1,430	1,413
投資その他の資産	18,656	18,393
固定資産合計	80,383	79,463
資産合計	183,444	188,686
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,507	15,307
短期借入金	18,719	18,921
コマーシャル・ペーパー	1,000	11,000
未払法人税等	2,167	738
賞与引当金	2,097	1,067
役員賞与引当金	122	24
その他	10,679	10,619
流動負債合計	49,292	57,679
固定負債		
長期借入金	7,789	3,589
役員退職慰労引当金	62	47
債務保証損失引当金	5	14
環境対策引当金	—	67
退職給付に係る負債	623	660
その他	2,528	2,397
固定負債合計	11,008	6,776
負債合計	60,300	64,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,597	22,597
利益剰余金	75,502	76,615
自己株式	△1,903	△1,906
株主資本合計	116,378	117,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,577	3,435
繰延ヘッジ損益	△9	—
為替換算調整勘定	759	820
退職給付に係る調整累計額	1,623	1,665
その他の包括利益累計額合計	5,950	5,921
非支配株主持分	814	821
純資産合計	123,143	124,231
負債純資産合計	183,444	188,686

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	33,920	38,294
売上原価	27,893	31,162
売上総利益	6,026	7,132
販売費及び一般管理費	3,526	3,559
営業利益	2,500	3,572
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	95	109
その他	88	33
営業外収益合計	194	153
営業外費用		
支払利息	66	22
為替差損	438	161
その他	76	63
営業外費用合計	581	247
経常利益	2,113	3,478
特別損失		
固定資産除売却損	10	30
特別損失合計	10	30
税金等調整前四半期純利益	2,102	3,447
法人税、住民税及び事業税	51	673
法人税等調整額	425	433
法人税等合計	477	1,106
四半期純利益	1,624	2,341
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,619	2,320

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,624	2,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△874	△141
繰延ヘッジ損益	△56	9
為替換算調整勘定	△493	46
退職給付に係る調整額	102	41
持分法適用会社に対する持分相当額	△149	1
その他の包括利益合計	△1,470	△42
四半期包括利益	154	2,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181	2,291
非支配株主に係る四半期包括利益	△26	6

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,049	1,104	3,750	33,904	16	33,920	—	33,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,573	—	—	1,573	298	1,872	△1,872	—
計	30,622	1,104	3,750	35,477	315	35,792	△1,872	33,920
セグメント利益 又は損失(△)	2,004	216	193	2,414	△1	2,412	87	2,500

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額87百万円は、棚卸資産の調整額79百万円およびセグメント間取引消去7百万円であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,626	1,188	4,459	38,274	20	38,294	—	38,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,907	—	—	1,907	258	2,166	△2,166	—
計	34,534	1,188	4,459	40,182	278	40,461	△2,166	38,294
セグメント利益 又は損失(△)	2,884	271	441	3,597	△8	3,589	△17	3,572

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額△17百万円は、棚卸資産の調整額△57百万円およびセグメント間取引消去40百万円であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、平成29年4月1日付で実施した組織改正に伴い、「特殊材」事業に含めていた「特殊材料事業」および「金属粉末事業」のうち「特殊材料事業」を「鋼材」事業に含めることとし、従来の「特殊材」事業のセグメント名称を「粉末」事業に変更いたしました。

これにより、当第1四半期連結会計期間より、「鋼材」事業、「粉末」事業、「素形材」事業の3区分を報告セグメントとして開示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 参考資料

## 平成30年3月期 第1四半期決算発表

## 1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減	増減率	業績予想	
					第2四半期 累計期間	通期
売上数量	270	249	21	8.6	542	1,070
売上高	38,294	33,920	4,374	12.9	75,000	150,000
営業利益	3,572	2,500	1,072	42.9	6,200	11,800
経常利益	3,478	2,113	1,365	64.6	6,200	11,800
(ROS)	(9.1)	(6.2)	(2.9)		(8.3)	(7.9)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,320	1,619	701	43.3	4,100	7,800
設備投資	1,714	1,687	26	1.6		10,500
減価償却費	2,058	2,146	△88	△4.1		9,000

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	29年3月期				通期	30年3月期 4-6月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期		
売上数量	249	244	257	263	1,013	270
売上高	33,920	32,814	34,679	37,266	138,680	38,294
営業利益	2,500	2,708	3,313	3,163	11,685	3,572
経常利益	2,113	2,644	3,913	3,065	11,736	3,478
(ROS)	(6.2)	(8.1)	(11.3)	(8.2)	(8.5)	(9.1)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,619	1,526	2,621	2,016	7,784	2,320

## 2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増益要因		減益要因	
1. 販売価格・構成	17	1. 原燃料価格	26
2. 販売数量	8		
3. 固定費の減少	4		
4. 変動費のコストダウン	3		
5. 為替変動 (営業損益)	3		
6. 営業外損益	3		
7. 連結子会社の利益増	2		
計 (A)	40	計 (B)	26
		差引 (A) - (B)	14